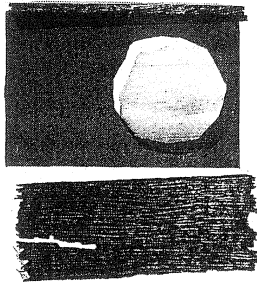


# 文化庁月報



1988-8

No. 239

**【表紙】**

友禅訪問着「薫影」

森口華弘

1959年作

・解説は30ページ

題字デザイン・桑山弥三郎

カット・林美紀子

# もくじ

新たな課題へ向けて

植木 浩 4

## 特集：映画芸術の振興

てい談

映画のおもしろさ

品田 雄吉 5

大島 渚

室生 朝子

製作の向上と鑑賞の充実へ

登川 直樹 13

「映画芸術の振興に関する懇談会」  
をふりかえって

報告

映画芸術の振興について

文化庁芸術課 15

〔中間とりまとめ〕

### — 都道府県のページ —

〔我が県の文化行政⑩〕

地域に根ざした

埼玉県 19

文化の育成を目指して

〔特色ある博物館・美術館紹介⑨〕

地域に愛され、親しまれる郷土資料館をめざして

京都府立丹後郷土資料館 22

❖第4回国民文化祭さいたま89

24

「若さと活力に満ちた」基本構想ができる

❖架けよう—文化の橋・交流の橋

24

「第5回国民文化祭・愛媛90」基本構想まとまる

❖第4回国民文化祭さいたま89

25

ポスターデザインコンクール/マスコットマークの愛称募集

### — 文化庁だより —

〔文化庁ニュース〕

・昭和62年度民間芸術等振興費

26

補助金の交付状況について

・文化庁舞台芸術創作作品募集

28

・文化振興会議の開催について

28

〔展覧会等紹介〕

・特集・逝ける映画人を偲んで(1987~1988)

29

・トルコ・トプカプ宮殿秘宝展

29

・文化庁行事報告及び予定 .....30

・国立劇場ニュース .....31

## 新長官あいさつ

さる六月十日付けで文化庁長官を拝命いたしました。

文化行政を一体的に推進するため文化庁が創設されたのは、昭和四十三年六月ですから、今年はずいぶん文化庁が誕生して満二十年になります。

このような大事な節目の年に、大崎前長官のあとを引き継ぐこととなりましたが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

文化行政上もう一つ特筆すべきことは、十年ぶりに文化白書ともいうべき「我が国の文化と文化行政」が、前長官の陣頭指揮のもとで作成・公表されたことです。

この文化白書の中では、我が国の文化をめぐる諸状況の分析、文化行政と予算、文化の国際交流等について述べられています。

その中でも指摘されているように、経済生活の向上と自由時間の増大等を背景に、「物

## 新たな課題へ向けて



文化庁長官 植木 浩

から「心」へという国民全体の文化への志向は、今や「文化の時代」といわれる大きな流れになりつつあります。

このような社会的状況の中にあつて、芸術の振興、国民の文化活動の促進、文化財の保護・活用や国語、著作権、宗教など文化行政の課題は大変広範にわたっております。

またとくに近年、諸外国からの日本への関心が急速に高まってきておりますが、文化の分野でも積極的に世界に寄与できるよう、文化の国際交流を格段に推進していく必要があると思ひます。

ちようど文化庁が成人式を迎えたこのときにあたり、微力ではありますが、日本文化の振興と文化政策のために努力いたしたいと思ひつておりますので、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。